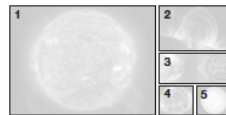
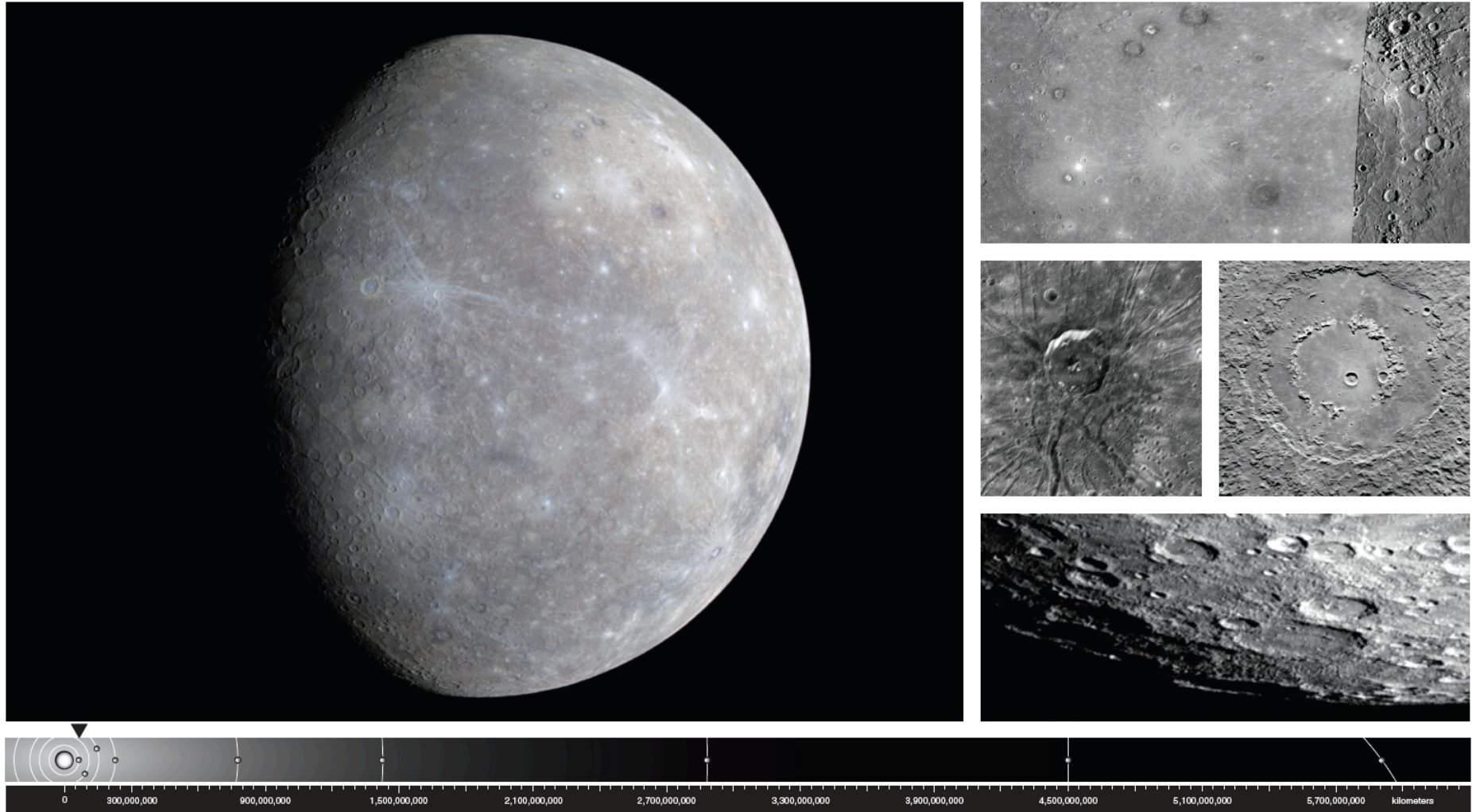


# 太陽 Sun



1. 太陽の彩層から吹き出す2つの巨大なプラズマの雲(SOHOが極端紫外線で撮像).
2. 太陽の表面から上に伸びる巨大な超高温のコロナのループは磁場によって作られると考えられている(TRACEが撮像).
3. コロナ質量放出とその地球磁場との相互作用の概念図(太陽と地球のスケールは異なる). 地球磁気圏は太陽からの圧力によって歪められている.
4. 異なる温度に対応する3つの波長から合成した太陽コロナの擬似カラー画像(SOHOが撮像).
5. 2003年に発生したいくつかの強力な太陽フレアに関連して光球にあらわれた巨大な黒点(SOHOが撮像).

資料提供：NASA

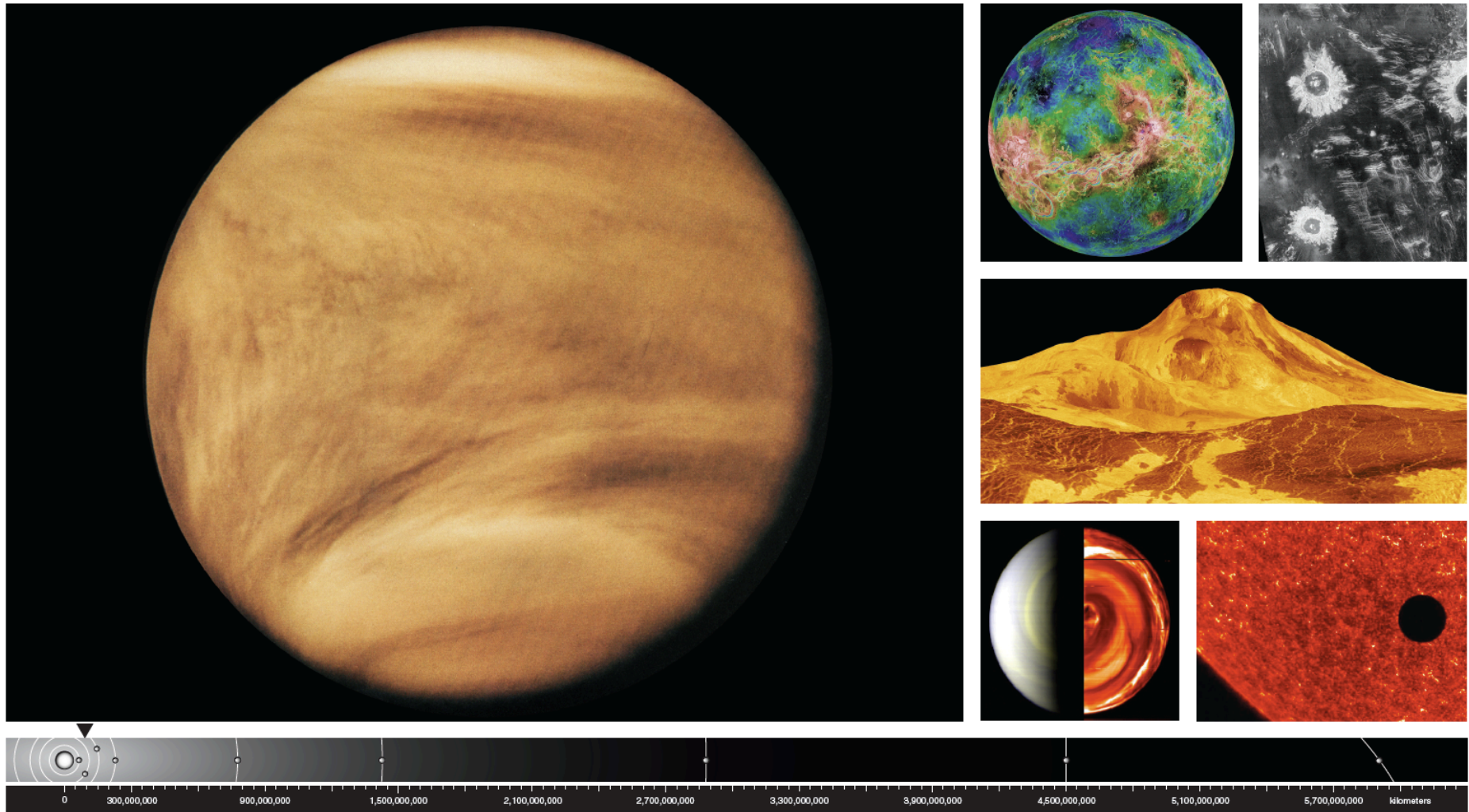


# 水星 Mercury



1. 可視光と赤外線から作成した水星の擬似カラー画像(MESSENGERが撮像).
2. Caloris盆地の合成画像(右側はMariner10号による撮像で、左側はMESSENGERによる撮像).
3. Pantheon Fossae. カロリス盆地の中心にあって放射状に伸びる形状をした谷(MESSENGERが撮像).
4. Raditladi盆地にある二重リングクレーター(MESSENGERが撮像).
5. 水星南極の近接画像(Mariner10号が1974年に撮像).



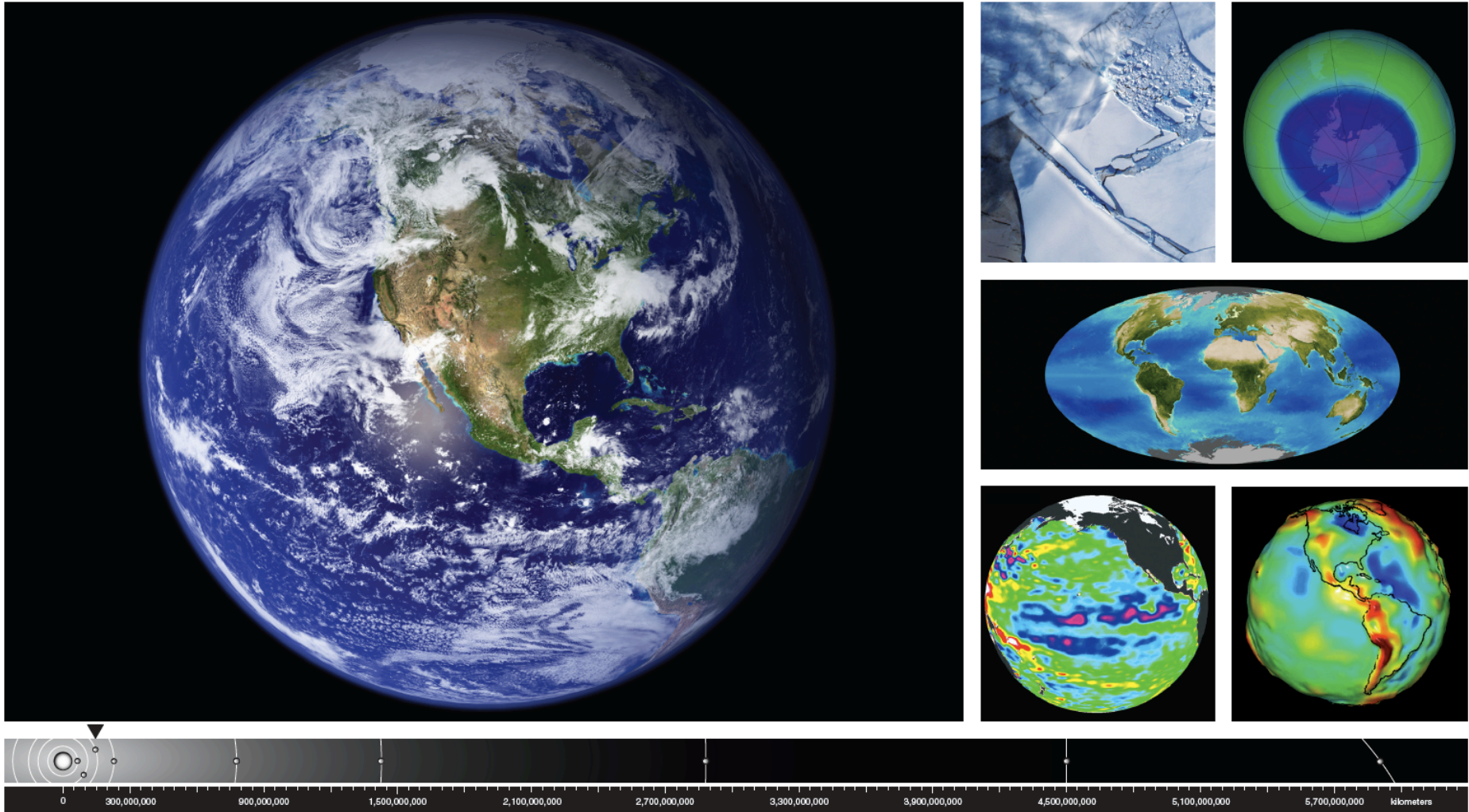


# 金星 Venus



1. 紫外線で見た金星の雲(Pioneer Venusが1979年に撮像).
2. 金星地表のレーダー画像. 色は標高に対応している(Magellanが観測).
3. 衝突クレーターのレーダー画像(Magellanが観測).
4. レーダー観測の結果に基づいて合成された3次元のMaat Mons火山(Magellanが観測).
5. 擬似カラー画像. 左側は紫外線で見た上層雲, 右側は赤外線で見える下層雲. 雲が渦巻いていることがわかる(Venus Expressが撮像).
6. 2004年に太陽面上を通過した金星の画像(TRACEが撮像)

資料提供: NASA



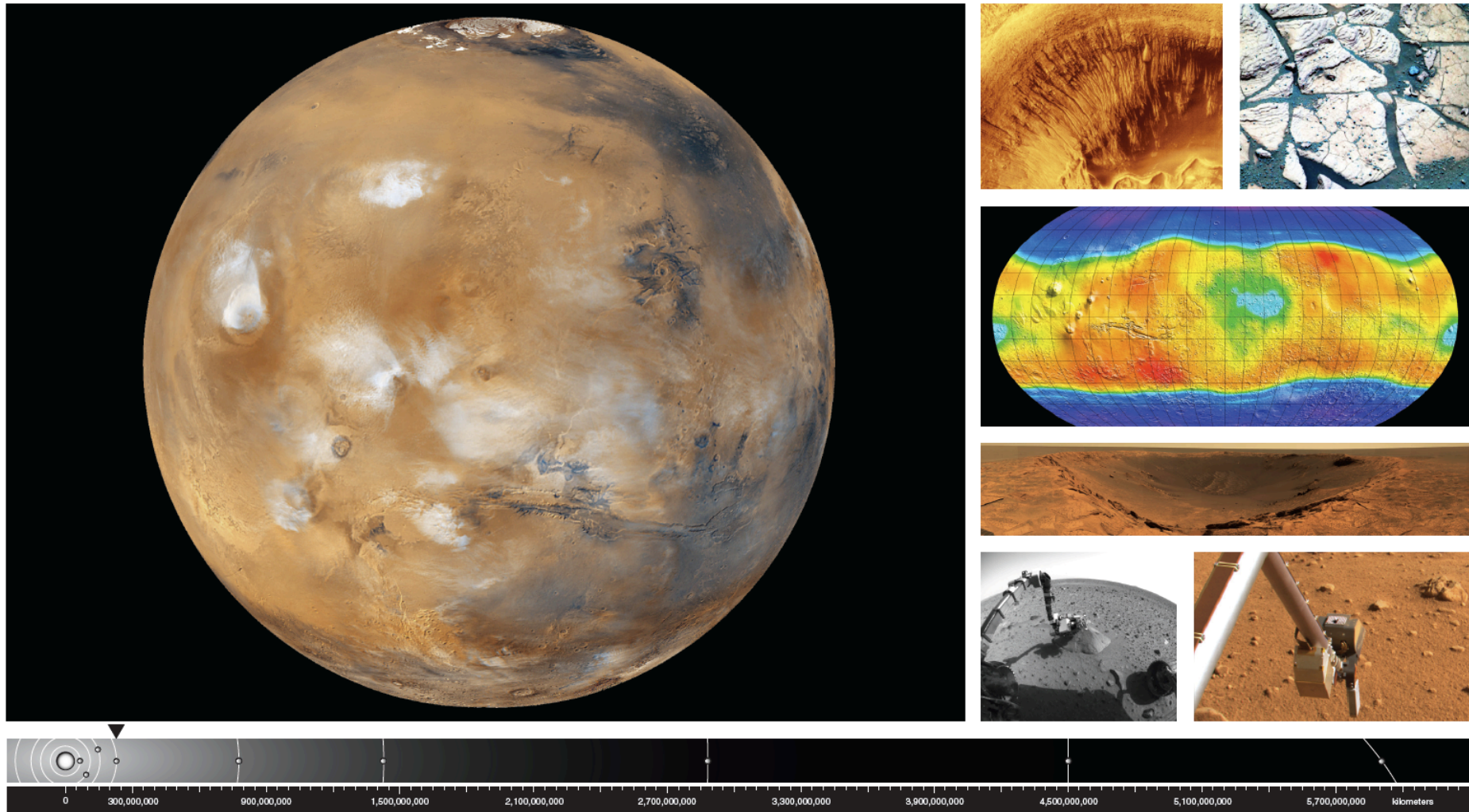
# 地球 Earth



1. 宇宙から見た地球。
2. 2008-2009年に崩壊した南極のWilkins棚氷。
3. 2008年のオゾンホール。南極大陸のほぼ全域と南氷洋の一部を覆う大きさで広がっている。
4. 地球の生物圏。緑色は植物、濃青は植物プランクトンを表す。
5. 2008年4月のLa Ninaの時の海面高度。赤道に沿って伸びる青色の領域には冷たい水が存在している。
6. 南北アメリカの重力場。赤色は重力が大きく、青色は重力が小さい。

資料提供：NASA



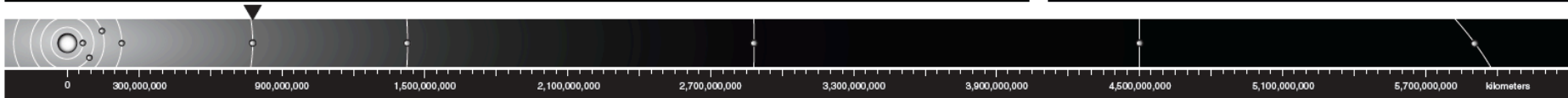
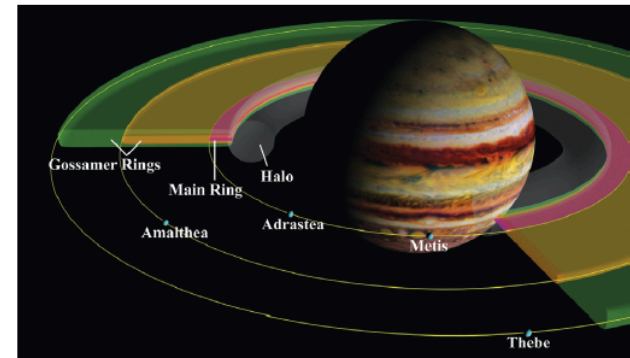
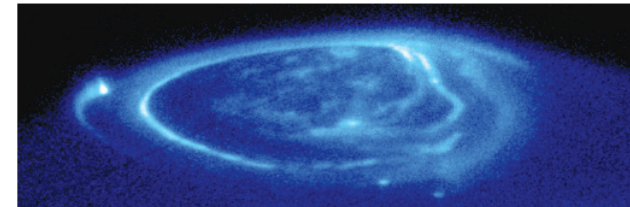
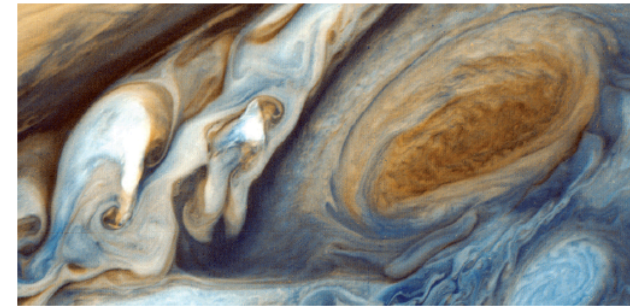
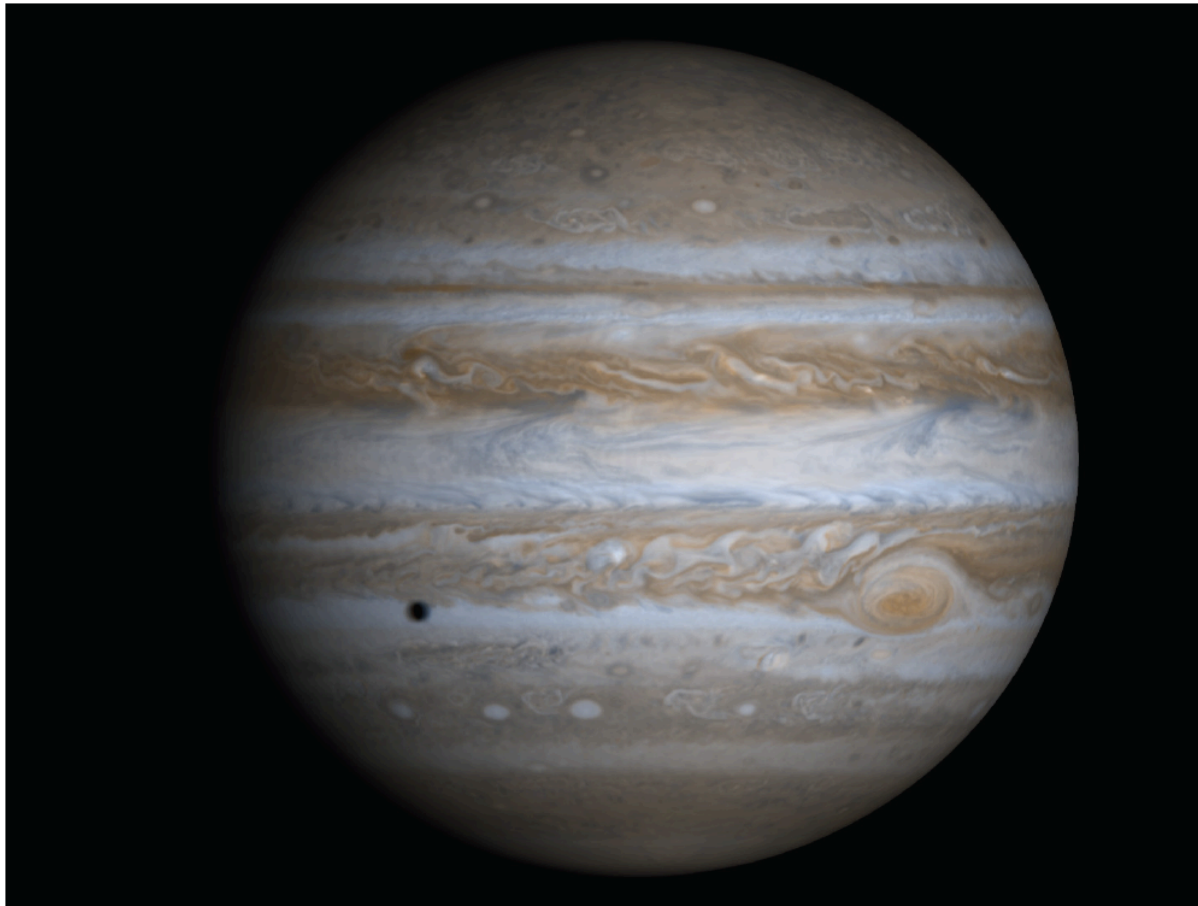


# 火星 Mars



1. 火星の全球画像。白く見えるのは水氷の雲や極域の水床,
2. ガリーと呼ばれる地形。最近に流れた水によって作られた可能性がある。
3. 擬似カラー画像で青色に見える球形の粒は、遠い過去に水の中で形成されたと考えられている(Opportunityが着陸点で撮像)。
4. 青色は表面下に水氷が埋まっている地域を表している(Mars Odysseyが観測)。
5. Endurance Crater. Opportunityが着陸したMeridiani平原にある。
6. Spiritがロボット・アームを使ってAdirondackと名付けられた岩石を調査する。
7. Phoenixのロボット・アームが凍った土壌を削って集める。

資料提供：NASA

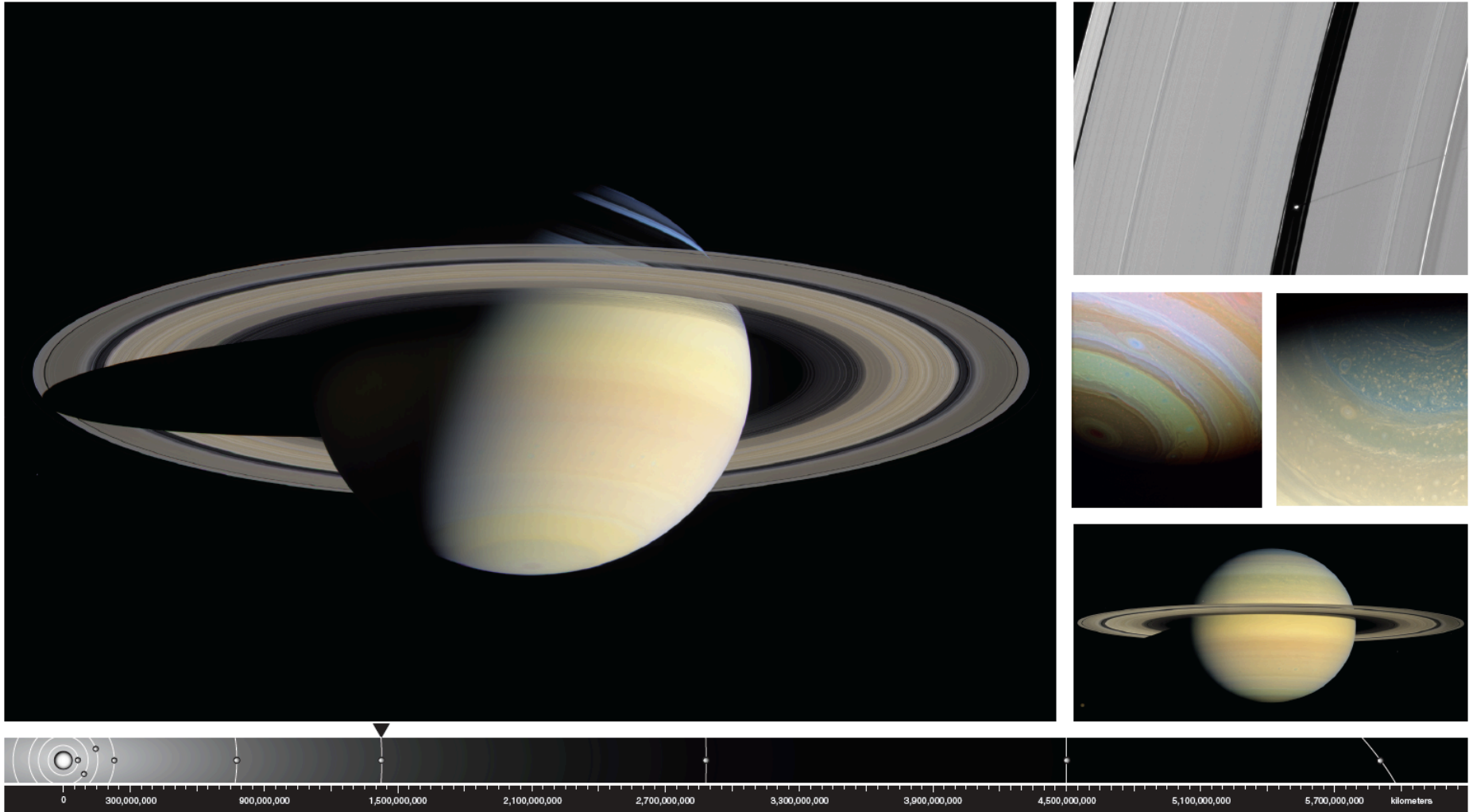


# 木星 Jupiter



1. 木星(Cassiniが撮影). 中央やや左下にある黒い点は衛星Europaが落とす影.
2. 木星の大赤斑(Voyager 1が撮像).
3. 紫外線で撮像された木星オーロラ. 北磁極を取り囲むように複雑な形状のオーロラが出現する. 衛星Io, Ganymede, Europaから放出された物質は木星の磁力線に沿って移動するため, 衛星から木星の磁力線に沿って引いた線が木星表面と交わる場所では特に明るいオーロラが観測される.
4. 木星リングを構成する各要素をあらわした模式図.



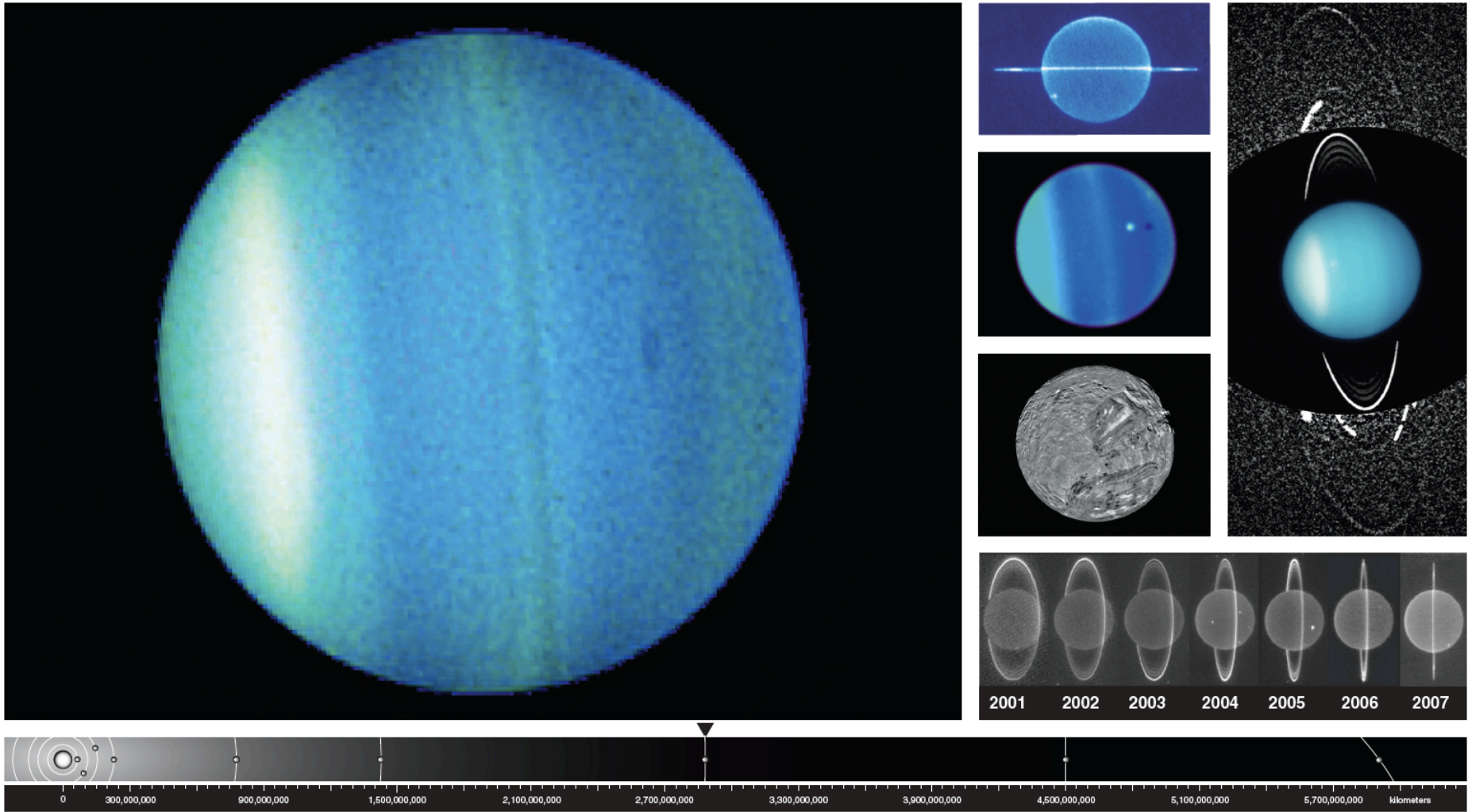


# 土星 Saturn



1. 土星(Cassiniが撮影)
2. 衛星Panの影がAリングの上に長い影をつくる。
3. 南半球の擬似カラー画像(Cassiniが撮像)。土星の雲にある微細な構造が見える。
4. 土星の北極にばらばらと存在する嵐。観測当時この地域は極夜で陽が当たらなかったが、2010年以降は陽が当たるようになるため可視光でより詳細な観測ができるようになる」と期待されている。
5. 土星が分点に近づくにつれてリングがつくる影の形が変わる。また土星大気の色が変化することが探査機Cassiniによって観測された。

資料提供：NASA



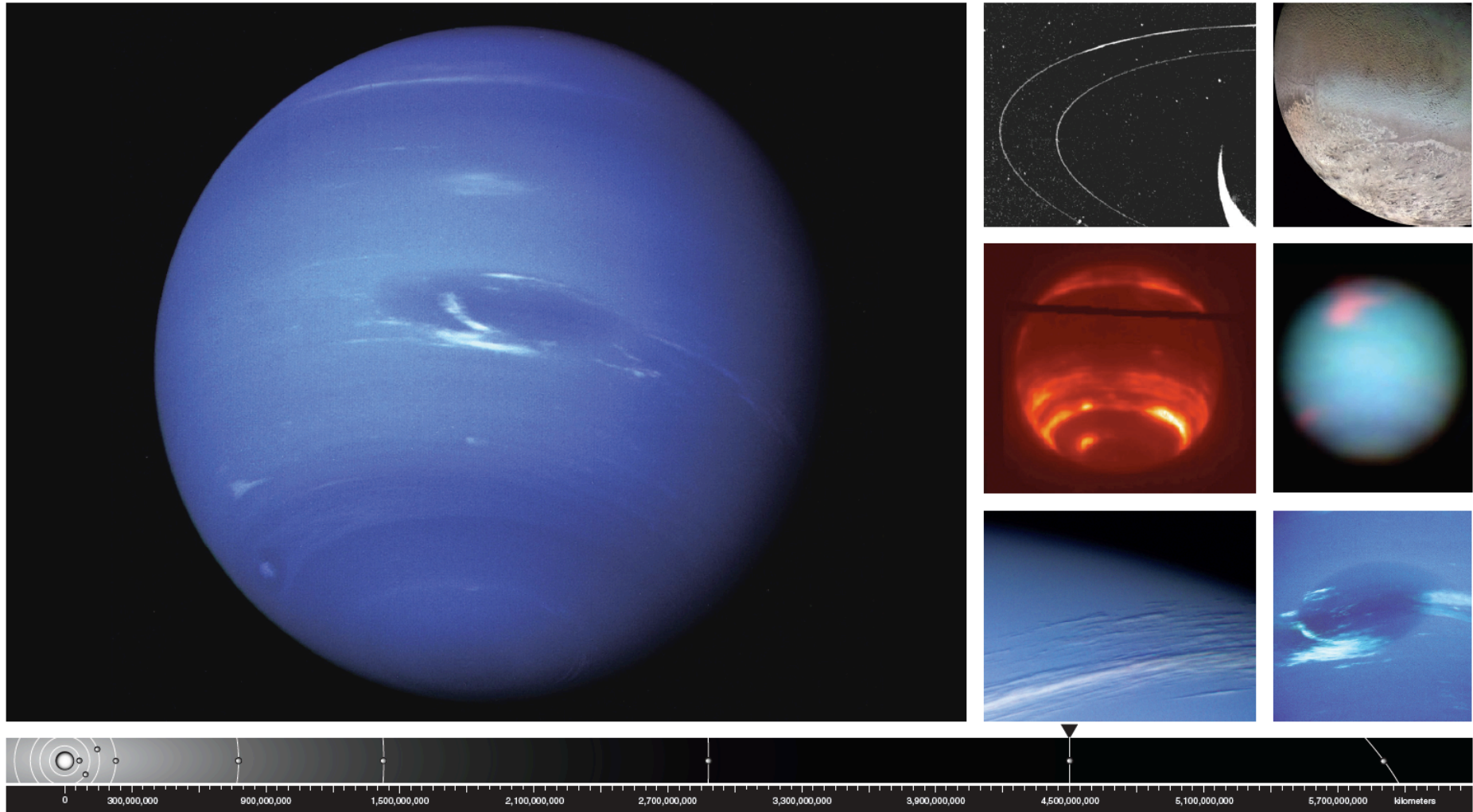
# 天王星 Uranus



1. 天王星(Hubble宇宙望遠鏡が2006年に撮像)。帯状の構造と暗斑。
2. 赤外線で見えたリング(Keck望遠鏡が2007年に観測)。この画像は90度回転してある。
3. 天王星の前を通過する衛星Ariel。白い点はArielで、黒い点はその影(Hubble宇宙望遠鏡が撮像)。
4. 衛星Miranda(Voyager 2が撮像)。
5. 2003年に発見された外側にある2つのかすかなリング。明るい流跡は衛星によるもの。
6. 2001年から2007年の期間における天王星とそのリングの変化(Keck望遠鏡が赤外線観測)。画像の左が南極。

資料提供：NASA





# 海王星 Neptune



1. 海王星(Voyger 2号が1989年に撮像).
2. 海王星のリング(Voyger 2号が撮像).
3. 衛星Triton(Voyger 2号が撮像). 複雑な模様が見える地表は窒素の水で覆われている.
4. 赤外線で見えた海王星. Keck望遠鏡で補償光学を使って観測された.
5. 明るく写っているのは高高度に存在するメタン氷の雲(Hubble宇宙望遠鏡が撮像).
6. Voyager 2号が撮像したこの雲の高さは約50kmと推定されている.
7. 海王星の大暗斑の近接画像(Voyger 2号が撮像). 大暗斑はよくわかっていない.